

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和6年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間(4月～3月)

施設名	秋川溪谷 戸倉体験研修センター	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	令和5年4月1日から 令和10年3月31日まで	担当課	観光まちづくり推進課

## 1 業務の遂行状況及び収支の状況

(単位/税込)

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)		312	312	100.0%
	延べ利用者数 (人)		25,823	28,183	109.1%
	事業開 催回数	必須事業：宿泊 (回)	60	83	138.3%
		自主事業：体験 (回)	55	58	105.5%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	26,500,000	26,500,000	100.0%
		利用料金収入(売上) (円)	9,666,000	11,253,300	116.4%
		自主事業(体験飲食等)収入 (円)	11,942,000	16,586,906	138.9%
		その他の収入 (円)	0	88,609	-
	収入計 (円) …①		48,108,000	54,428,815	113.1%
	支出	人件費 (円)	29,246,737	31,422,720	107.4%
		維持管理経費 (円)	12,109,242	11,332,838	93.6%
		自主事業関係経費 (円)	人件費に含む		-
		その他の支出 (円)	4,073,021	5,896,428	144.8%
	支出計 (円) …②		45,429,000	48,651,986	107.1%
	収支 (①-②) (円) …③		2,679,000	5,776,829	215.6%
諸経費 (本社運営費など) …④		-	-	-	
総収支 (③-④) (円)		2,679,000	5,776,829	215.6%	

### 指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p><b>【開館日数・利用者数について】</b>                  開館日数：312日                  利用者数：22,299人                  (見学等利用者数：5,884人)                  延べ利用者数：28,183人</p> <p>※臨時休館日がなかったため見込どおりの通常営業を実施しました。</p>	<p><b>【事業の実施状況について】</b>                  利用者数は、年間計画に対し述べ2,360人、前年度実績に対し述べ2,721人の増加となった。                  年間を通して着実に顧客が増加しているが、小学生など学生の利用人数は少子化もあり減少傾向が続いていると考えます。</p>	<p><b>【収支状況について】</b>                  収入については、年間計画比で利用料金収入116.4%、自主事業収入は138.9%となり、宿泊が増加したことにより飲食収入も増加した。                  支出については、最低賃金の引上げ、原材料仕入価格の高騰が経営を圧迫しましたが、収入に対し支出を抑制できたと考えます。</p>
---	--	--

### 所管課の評価 (指摘事項)

<p><b>【開館日数・利用者数について】</b>                  開館日数については年間計画どおりであった。                  宿泊回数の増加により、延べ利用者数は年間計画より大幅に増加したことは評価できる。</p>	<p><b>【事業の実施状況について】</b>                  体験及び研修において、近隣の農家の協力を得た収穫体験、ジオ情報室と連携した学習活動、企業研修での座禅体験などの事業を実施できたことは評価できる。</p>	<p><b>【収支状況について】</b>                  人件費の上昇、飲食の原材料費の高騰が支出額を増加させているが、収入は年間計画を上回る成果を上げたことは評価できる。</p>
--	---	---

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	直接の振り返り等	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	13-15人 人員配置計画、実地、出勤簿	14人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	2回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	62% 人員配置計画	62% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

### 3 上記1、2の評価に関する所見

#### 指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

利用者が最も多かった前年度の25,462人を更新し、延べ利用者数は28,183人、前年度比113.4%、年間計画比109.1%となり、これまでで最も施設利用が多い年度となりました。

これは、地元スタッフの心遣いが、利用者には評価されているものと考えています。利用者の心に残る「楽しさ・面白さ・懐かしさ」を体感できる施設としての方向性を示し、地域関係者とより良い関係を築き、戸倉地域の風光明媚な資源を活用した体験活動、宿泊学習及び企業の研修等の場を提供してまいりました。

引き続き、リスクマネジメント研修会や野外活動時における基準値の高い応急処置講習に参加するなど、安全・安心・衛生に努め、利用者の期待と要望に応えるよう運営してまいりました。

各事業については以下のとおりです。

体験及び研修に関する事業の主な内容として、近隣の農家さんに指導いただく季節の収穫をメインとした農業体験、夏季繁忙期間は青少年活動に特化した自然体験、ジオ情報室と連携した知的好奇心が溢れる学習的活動を受け入れました。ほかにも武道団体の合宿、宿泊と合わせた企業研修等での座禅体験は約200人の利用があり、例年どおり好評を得ました。

次に研修室、グラウンド及び体育館などを利用者にお貸しする貸出部門については、今年度の利用者数は4,825人であり、前年度の利用者4,352人と比較して473人の増加となり、学生の夏季講習やドローン講習、ロケ利用などに活用されました。

宿泊及び飲食部門は、宿泊者が増加したことにより、滞在中の飲食利用が増加しました。ただし、飲食営業を取り巻く環境は苦戦の状況であり、原材料費である仕入価格の高騰が予想を超え、最低賃金の引上げに伴う人件費の上昇は経営を圧迫している状況です。このような状況で、主に、以下の施策にて利用者の要望に柔軟に対応しました。

- ・商品開発及びメニューの価格改定
- ・夕食メニュー選択制の導入
- ・購買意欲の増す土産品の陳列
- ・さとふる(あきる野市ふるさと納税)の参加協力
- ・代理店経由によるDM送信
- ・顧客へ挨拶はがき送付 他

最後になりますが、市内の有志と協力し整備を続けている「野鳥誘致園」活動では、新たな協力者も増えており、利用者を楽しんでいただけるよう舗装、植樹、剪定などを全て手作業で進め、スタッフ各々の自主性ある行動を鼓舞し、管理運営に当たってまいりました。

#### 所管課による所見（指摘事項など）

最低賃金の引上げに伴う人件費の上昇、飲食の原材料費の高騰が支出額を増加させているが、夜間の委託警備を一部従業員が宿直対応することや、利用者の滞在時間以外の徹底した消灯、全館集中暖房の作動時間の短縮により重油使用量の削減を実施しており、企業努力において評価できる。

飲食部門の商品開発やメニュー価格の改定、夕食メニューの選択制導入など、利用者の要望に柔軟な対応を実施している。

宿泊者については、滞在中の過ごし方や食事の要望の聞き取りなど、サービス向上の取組が積極的に行われている。また、施設の利用促進策として、DMや顧客への挨拶はがき送付などの営業活動が功を奏し、利用者数の前年度比は113.4%と伸びた。

今後も利用者の目線に立ち、施設の魅力を高め、また訪れたいと思われる施設運営を目指すとともに、健全な事業運営を行ってほしい。